

# 指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成 28 年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)  
年間 (4月～3月)

施設名	秋川溪谷戸倉体験研修センター	指定管理者	新四季創造株式会社
指定期間	平成 27 年 10 月 1 日から 平成 30 年 3 月 31 日まで	担当課	観光まちづくり推進課 観光振興係

## 1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	307	307	100.0%	
	延べ利用者数 (人)	16,585	20,401	123.0%	
	事業開 催回数	必須事業：宿泊 (回)	76	62	81.6%
		自主事業：体験 (回)	76	36	47.4%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	21,990,000	21,990,000	100.0%
		利用料金収入 (円)	21,794,000	8,260,100	37.9%
		体験飲食等事業収入 (円)	13,297,000	10,219,150	76.9%
		その他の収入 (円)	0	96,314	—
	収入計 (円)		57,081,000	40,565,564	71.1%
	支出	人件費※ (円)	23,997,000	18,971,148	79.1%
		維持管理運営経費 (円)	25,633,000	13,627,094	53.2%
		その他の支出 (円)	6,316,000	4,173,056	66.1%
	支出計 (円)		55,946,000	36,771,298	65.7%
収支 (収入－支出) (円)		1,135,000	3,794,266	334.3%	

### 指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

<b>【開館日数・利用者数について】</b> 開館日数：307 日 利用者数：13,857 人 (貸室利用者数：3,558 人) (見学利用者数：2,986 人) 延べ利用者数：20,401 人	<b>【事業の実施状況について】</b> 地域の方と連携した体験内容を企画し、宿泊者のニーズに沿った体験及び研修を実施した。飲食営業については、地産地消に取り組み、安全面では、危機管理・体験指導員の研修に参加し、受入体制を整えた。	<b>【収支状況について】</b> 年間を通し、計画的な雇用を図り、人件費を抑制した。計画的に燃料(重油・灯油)を使用し燃料費及び水熱光費を抑制した。また、遮熱フィルムや網戸など予期せぬ消耗品などを購入した。
--	--	---

### 所管課の評価 (指摘事項)

<b>【開館日数・利用者数について】</b> 当初の計画どおり開館できている。冬季の集客が減少したため、年間を通して集客できる事業を検討したい。	<b>【事業の実施状況について】</b> 地域の方々と連携を図り、体験事業や食材の提供など、良好な関係を保っている。	<b>【収支状況について】</b> 夏休み期間の収入が順調であったことと、人件費の抑制、維持管理経費等の削減を努め収益を得ることができている。
---	---	--

※人件費には、自主事業である飲食に係る人件費を含む。

## 2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	予約台帳、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	予約台帳、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	予約台帳	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	電話による問合せ利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	14人 人員配置計画	14人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	2回/年 研修マニュアル	実施回数 2回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者の雇用促進に努めている	30% 人員配置計画	30% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	社用就業規則	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報保護のための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報	適正・要改善	適正・要改善

### ※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

### 3 上記1、2の評価に関する所見

#### 指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）

施設の管理受け渡しから実際に営業運営するまで、準備期間が短いことは否めませんでした。団体教育旅行などを主とする代理店と連携しながら、営業・宣伝活動を行い、地域の方と共に体験事業を企画し、お客様の要望に合わせた活動を提供しました。宿泊については、子ども主体の青少年育成活動団体、都立高校の部活動の学生団体、企業研修及び私営塾の合宿など、多岐にわたり団体客を受け入れました。また、研修室や体育館を使用し、新人社員向けの企業研修、武道団体の稽古、市が取り組む「ドローン」関連事業など、秋川溪谷に新たな客層も増え、観光振興に寄与したと考えております。また、宿泊の予約規定が24か月先まで受入れ可能となったことで、お客様のニーズに応えられるようになっただけでなく、柔軟な受入体制及び人員配置対策が可能になるなど、相互にメリットがありました。飲食営業では、地域の生産者と良い関係を築き、仕入れについては野菜中心に地産地消に努め、都市間交流を図りながら農業体験を誘致しました。一方、安全・安心の観点から、安全管理者研修やリスクマネジメント講習などの研修に積極的に参加し、施設維持管理に努めました。

今後も一層、市及び地域と連携を強化し、企業努力してまいります。

#### 市による所見（指摘事項など）

平成28年4月9日のオープン後、新規顧客の集客に成功している。また次年度の宿泊予約をしていく団体（リピーター）を獲得できている。飲食営業では、地域の生産者と良い関係を築き、仕入れは野菜中心に地産地消に努め、都市間交流を図り、農業体験等により地域の活性化に繋がっている。冬季の集客については今後検討すべき部分である。